

整理 No.	28	分類	「災害廃棄物」	
会社名	泥土処理研究会			
担当者	技術部会 伊藤 彰浩、堀 常男			
連絡先	TEL	03-3272-6502	FAX	
	E-mail	deidoken@gmail.com		
技術の名称	MUDIX 工法（連続式泥土処理工法）			
概要 (150字程度)	<p>災害廃棄物から破碎・選別（20mm以下）後、除塩設備工程にて発生する大量の土砂類を固化材（石灰およびセメント系固化材）を MUDIX 工法（連続式泥土処理工法）で混合し、第三種改良土相当の土工資材を製造した。改良土は、土壤環境基準値を確認後、地震で沈下した港湾の嵩上げ材や、河川の堤体等に再利用された。</p>			
技術登録等				
技術の概要	<p>東日本大震災で発した岩手県災害廃棄物の一部（80万トン）を大船渡に工場拠点を持つセメント会社が受け入れ、このうち半分の40万トンは土工資材として復興に期することが要求された。国、県からは急速大規模の土質改良が要求され、MUDIX 工法（連続式泥土処理工法）が採用された。</p> <p>対象土は租粒土から細粒土から多岐に渡り、細粒土では除塩工程を経た土砂で高含水比であった。よって、土質改良材は対象土によって石灰、セメント系固化材を都度選定して土質改良を実施した。</p> <p>MUDIX 工法は、200ton/時の高い能力を持ち、中央制御装置にて事前に設定された固化材添加量を確実な計測（処理土量、固化材量）を行いながら対象土へ混入攪拌することが可能で、かつ攪拌精度が高い工法である。</p> <p>当該工法は、災害土砂の他、港湾・河川・ダム堆積土砂等の対象土砂を含め、これまで300万 m³以上の実績を有し、再利用先も多岐に渡って実績がある。</p> <p>最近では、汚染土壌に対し不溶化材とセメント系固化材を同時混合させる等、環境分野での実績も有している。</p>			
次頁	あり・なし			

技術の概要
(つづき)

【施工方法】
○対象の災害発生土砂

大船渡工場
除塩設備

二次選別場

20mm振動篩

20mm篩上

20mm篩下

<木材系可燃物>

<木材系不燃物>

除塩設備工程

【木屑類】
1,000ppm以下

【土砂類】
1,000ppm以下

【不燃物】
1,000ppm以下

<セメント工場>

<土工資材化プラント>

○MUDIX 工法（連続式泥土処理工法）の概要

土工資材化設備の概要

中央管理装置

解砕選別機

固化材

不溶化材

災害廃棄物 (土砂)

改質土 (土工資材)

技術の概要
(つづき)

○施工状況



○改良土



○利用先

